

風流々

～第 34 号～

編集・発行 乙訓福祉施設事務組合 乙訓若竹苑

〒617-0813 京都府長岡京市井ノ内西ノ口17-8

Tel 075-954-6501 Fax 075-954-6588

Mail otsufukuwakatakeen@lake.ocn.ne.jp

新年度のご挨拶

施設長 石野功一

新年度がスタートいたしました。利用者、ご家族、関係各位の皆様におかれましては、平素より乙訓若竹苑の各事業の運営にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて今年度は5月から年号が平成から令和となり、圏域における障がい福祉を取り巻く状況も変わっていくことが予想されています。一方、乙訓若竹苑におきましても、利用される方の心身の状況や本人を取り巻く状況がここ数年で変わってきております。

昨年度は就労継続支援事業では、新たに1名の方が入られましたが6名の方が退苑され、現在は29名の方が利用されています。そのような中で昨年11月に定員をそれまでの40名から34名に変更しました。一定数の利用者の入れ替わりは自然な状況といえるかもしれません。

地域活動支援センターにおいては、昨年度より支援の内容について検討しておりますが、今年度も引き続き、地域ニーズや利用者の方の状況等を踏まえながら、公立施設としてのあり方を構成団体である2市1町と協議してまいりたいと考えております。

施設設備におきましては、利用者用トイレの改修を予定しております。これまで本格的な修繕は行っておりませんでした。和式便器を車椅子のまま入ることのできる洋式便器に取り替えたり、つまりや匂い対策など、利用者にとって使いやすいよう改修を行なう予定です。

また職員人事におきましては、計画相談における相談支援専門員のなかに中心となる主担当者を設けました。「本人にとってより良い生活」について、ご家族の方とも相談しながらしっかりと考えていきたいと思っております。いろいろと課題はあるかとは思いますが、今年度もこれまで以上に支援の充実

に努めて参りたいと思っておりますので、今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

せいかつか いご かりちよう おおつか こ
生活介護係長 大塚まり子

がつ せいかつか いご かりちよう おおつか こ
4月より生活介護の係長となりました、大塚まり子です。

わかたけえん ねんめ がつ せいかつか いご みな す げつ た まいにち
若竹苑は3年目となります。4月から、生活介護の皆さんと過ごして、まだ1ヶ月足らずですが、毎日の
ウォーキングやグループ活動を一緒にさせていただき、少しずつ私の存在を自然に受け止めてくださ
っているような気がしています。

みな せいかつか いご つ かせ ひび たいせつ ことし ねんごう れいわ か
皆さんがこれまで生活介護で積み重ねてこられた日々を大切にしながら、今年は年号が『令和』に変
わる年でもあるので、新しい時代を皆さんと共に一歩ずつ歩んでいきたいと思っています。至らない
点も多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

しゅうろうけいぞく かりちよう もりたやすひろ
就労継続係 森田恭弘

ことし がつ しょくいん おとくにわかたけえん きんむ ふくしぎょうかい
今年の3月から職員として乙訓若竹苑に勤務させていただくことになりました。これまでの福祉業界
けいけん ねん とくべつよう ごろうじん せいかつほごほう ほごしせつ こうせいしせつ
の経験としては8年ほどで、特別養護老人ホームや、生活保護法における保護施設（更生施設など）で
はたら 働いてきました。

けいけん しせつ ちが おとくにわかたけえん いま けいけん い
これまで経験してきた施設とは、また違った乙訓若竹苑で、今までの経験がどのくらい生かせるかは
わ せんばいしょくいん しどう せいいつぱい いちにち はや りょうしやさま かぞくさま しんらい
分かりませんが、先輩職員のご指導に精一杯ついていき、一日も早く利用者様やご家族様に信頼され
る職員となれるよう努力してまいります。ご迷惑をおかけすることも多々あるかもしれませんが、ご
しどう べんたつ ほどなにとぞ ねが
指導ご鞭撻の程何卒よろしくお願いいたします。